

「湧水湿地」保全 担い手を

地表がはがれ、湧き水で潤った土地に
珍しい植物が自生する「湧水湿地」を学
ぶシンポジウムが二日、豊田市東山町の
市自然観察の森であった。同市の湿地は

「東海丘陵湧水湿地群」としてラムサール条約に登録されており、現状を知って
保護につなげようと市などが企画した。
(久野賢太郎)

豊田でシンポジウム 愛大院大講師「東海に1500カ所超」

全国的な調査記録がない 危惧種のシラタマホシクサな
湧水湿地の独自調査に二〇 ぞ、希少な植物の宝庫になっ
一三年から取り組む、愛知 ている。

学院大の富田啓介専任講師 富田さんは湧水湿地の上に
が講演。愛知県全域と岐阜 太陽光発電設備が設置され
県中・東濃、三重県北勢、 しまった例や宅地化などを例
長野県南信、静岡県西部に 示し「湧水湿地が開発の犠牲
少なくとも千五百八十九カ になっている」と課題を紹
所あるとの調査結果を発表 介。「身近な湿地を学校での
した。 環境教育の題材として活用
富田さんが実地調査した 性がある」と提案した。
これらの湿地は平均千五十 豊田市では、矢並、上高、
平方メートル程度の小さな 恩真寺の三湿地、計二・五
面積のものが多く、絶滅 告。全国から約百人が参加し
た。

全国的な調査記録がない 危惧種のシラタマホシクサな
湧水湿地の独自調査に二〇 ぞ、希少な植物の宝庫になっ
一三年から取り組む、愛知 ている。



④ラムサール条約登録の経緯を説明する富田さん＝豊田市東山町の豊田市自然観察の森で
⑤2012年に登録を受けた矢並湿地、定期的に一般開放を実施している＝豊田市で

